



## 介護役のご主人と離れ元気に

[あとで読む](#)

【尊厳ある介護（15）】赤ちゃんのように首がすわらなかったが

公開日：2017/10/15 (ソサエティ)

里村 佳子（社会福祉法人呉ハレルヤ会呉  
ベタニアホーム統括施設長）



回想療法に使うこともある黒電話（里村氏提供）

「わしが全部これの世話をせんといけ  
んのです」と寺岡修さん(仮名、82)は、奥  
様の由美さん(仮名、75)を見て言われまし  
た。

奥様は、立ち上がりや移乗は介助があ  
れば何とかできますが、車いすを使用されています。ご主人が、奥様の食事介助や  
おむつ交換と一生懸命介護をされていました。

老々介護なので、ご主人は、体力的にも精神的にも限界だったのか、奥様に向か  
って「お前は、こんなこともできんのか」などと日常的に言われていました。

ご主人は、奥様の世話は他の人には任せられない責任感から介護サービスの利用  
に対して抵抗があったようでした。

担当の介護サービスの計画をたてるケアマネジャーが、何とかご主人を説得し  
て、奥様に日中デイサービスに行っていただくようにしました。奥様がデイサービ  
スを利用すると食事と入浴をされるので、その間、ご主人が心と体を休めることが  
できるからです。

奥様が初めてデイサービスに来られた日、自宅に面接に行った時は気づかなかっ  
たのですが、首が赤ちゃんようにぐらぐらして座りにくいのです。

無表情で精気もなくスタッフが声をかけてもあまり反応がありません。

その後、順調にデイサービスを利用されていましたが、ある日、ご主人が入院されることになり、奥様は自宅で生活をするのは難しくなりました。そのため、他の施設のショートステイに入所するのでデイサービスは、お休みするとケアマネジャーから連絡が入りました。

数か月経ったころでしょうか。ご主人が退院されたので、奥様も自宅に戻られ、デイサービスを再開することになりました。

奥様は以前のように車いすで来られましたが、別人のようにお変わりになっているので、私は驚きました。

首がしっかり座っているのです。変化があったのは首だけではありません。目も焦点が定まっていて、スタッフとお話しまでされるのでした。食事も自分で召し上がりました。

この変化は、ショートステイでリハビリを受けたからなのか、それとも薬が変わったのか、情報はありませんでした。

もし、特別な治療がなされていないのであれば、ご主人と離れた数か月間に奥様が元気になった理由があるように思いました。

奥様は、ご主人に一生懸命介護される度に、世話をされる自分になさけなくなって自信を失い、赤ちゃんのように首が座らなくなったのではないのでしょうか。

赤ちゃんになれば、叱咤激励されることもありませんから。

奥様は、ご主人と離ればなれになった期間に、少しずつ、ご主人の助けなしに自分のできることが増えたことで、自信を回復しその結果首が座るようになったのかもしれません。

一般的に男性が介護をすると、誰にも頼らず手を抜かないで頑張る傾向があります。

一人で介護をするとストレスが発散できず、内向きになります。

そして、体調を崩したり、時には自分でも気づかぬうちに虐待などにもつながっている場合もあります。

介護は、育児と違い終わりが見えません。終わりが見えないからこそ介護をする家族の忍耐と労力は、想像以上です。

だからこそ、一人で抱えないで市町村の相談窓口に行ったり、介護サービスを利用していただきたいのです。

私たち介護を提供する側も利用者や家族が安心して介護サービスを受けていただけるよう、努力が欠かせません。遅々とした歩みであったとしても、介護の質の向上を目指して。

(注) 事例は、個人が特定されないよう倫理的配慮をしています。

この連載は水曜日に掲載します。

続報リクエスト

マイリストに追加

以下の記事がお勧めです

- > [里村 佳子氏のバックナンバー](#)
- > [金融資本主義が資本主義をダメにした](#)
- > [「九転十起」の精神で“女性活躍”時代を先駆ける](#)
- > [「ウォシュレットがないから暮らせない」と言った日本人留学生](#)
- > [新生GPIF、塩崎前厚労相の置き土産？](#)

プロフィール

最近の投稿



里村 佳子( 社会福祉法人呉ハレルヤ会呉ベタニアホーム統括施設長 )

法政大学大学院イノベーションマネジメント (MBA) 卒業、広島国際大学臨床教授、前法政大学大学院客員教授、広島県認知症介護指導者、広島県精神医療審査会委員、呉市介護認定審査会委員。ケアハウス、デイサービス、サービス付高齢者住宅、小規模多機能ホーム、グループホーム、居宅介護事業所などの複数施設の担当理事。今年10月に東京都杉並区の荻窪で訪問看護ステーション「ユアネーム」を開設予定。

News Socraは、記者30年、新聞協会賞受賞の元日経新聞の土屋直也が編集長をしています。  
ネットで本当のジャーナリズムを盛り上げたいと思い、ベテランライターによる独自記事とセレクト記事を掲載  
しています。

[トップへ](#)

アプリでもご覧になれます



いいね! 0

シェア 0

ツイート

G+

LINEで送る

[この記事編集](#)

<a href="#">ソクラとは</a>	<a href="#">FAQ</a>
<a href="#">編集長プロフィール</a>	<a href="#">利用規約</a>
<a href="#">利用案内</a>	<a href="#">プライバシーポリシー</a>
<a href="#">著作権について</a>	<a href="#">特定商取引法に基づく表示</a>
<a href="#">メイキングソクラ</a>	<a href="#">お問い合わせ</a>
<a href="#">お知らせ一覧</a>	<a href="#">コラムニストプロフィール</a>

Copyright © News Socra, Ltd. All rights reserved